

環境分野で新商品開発

しがぎん野の花賞 6企業

産学官で連携し、環境分野での事業化や新商品を開発した企業を滋賀銀行が表彰する「しがぎん野の花賞」に、県内6企業が選ばれた。

同行は、新規事業に取り組み企業を応援しようと、県内の企業向けに「サタデー起業塾」を主宰。事業化や新商品開発に成功した企業に、2003年から毎年、同賞を贈っている。

今年度は①効率良く水質浄化が行えるポンプを開発した大洋産業（彦根市）②永久磁石を使って湯を沸かす機器を開発した日本ポリスター（湖南市）③パイオ式生ごみ処理機を開発した林田鉄工（甲賀市）④炭素を使った歯周病の治療器具を開発した大木工藝（大津市）⑤広告付きの植物プランターで壁面緑化に取り組

む多額植物園（多賀町）⑥ガスコンロとIHクッキングヒーターの両方に対応した信楽焼の土鍋を作った中川研陶（甲賀市）——の6社が受賞した。

草津市大路のしがぎん草津ビルで行われた贈呈式

で、滋賀銀行の大道良夫頭取が「閉塞感が漂う中、企業は新事業への挑戦が必要だ。環境は成長産業の一つで、応援を続ける」とあいさつ。各社の代表者に表彰状と奨励金各10万円を贈った。